

ACIアクセスポリシーの解決 : "parent is a system generated profile" ; エラー

内容

[概要](#)

[背景説明](#)

[システム生成オブジェクトの編集](#)

[リーフ101のインターフェイスの設定](#)

[システムプロファイルポリシーの編集方法](#)

[インターフェイス設定を追加/削除するAPIアプローチ](#)

[インターフェイスポリシー「10gig_policy」をリーフ101に追加 : E1/8](#)

[インターフェイスポリシー「bcg1-3k」をリーフ101に追加 : E1/10](#)

[リーフ101に関連付けられたインターフェイス設定の削除 - E1/10](#)

[インターフェイスポリシー「bcg1-3k」をリーフ102に追加 : E1/14](#)

[要約](#)

[既知の問題/バグ](#)

概要

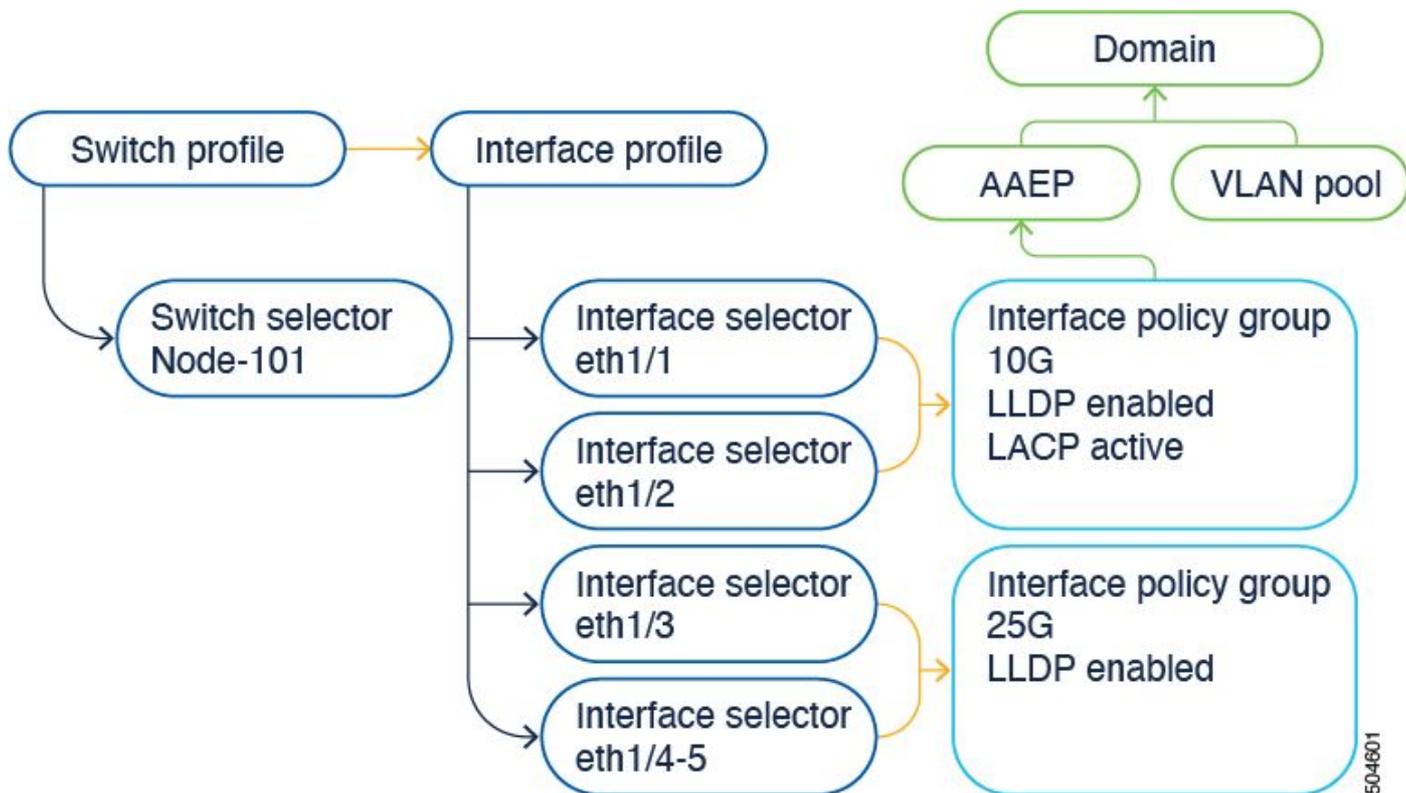
このドキュメントでは、ACIの新しいインターフェイス設定方法について説明し、それに関連付けられているシステム生成アクセスポリシーを変更する際のエラーを修正する手順を示します。

背景説明

5.2.4以降のリリースでは、アクセスポリシーを簡素化するために、「ポート単位の設定」オプション（「インターフェイス設定」またはinfraPortConfigとも呼ばれる）が導入されました。

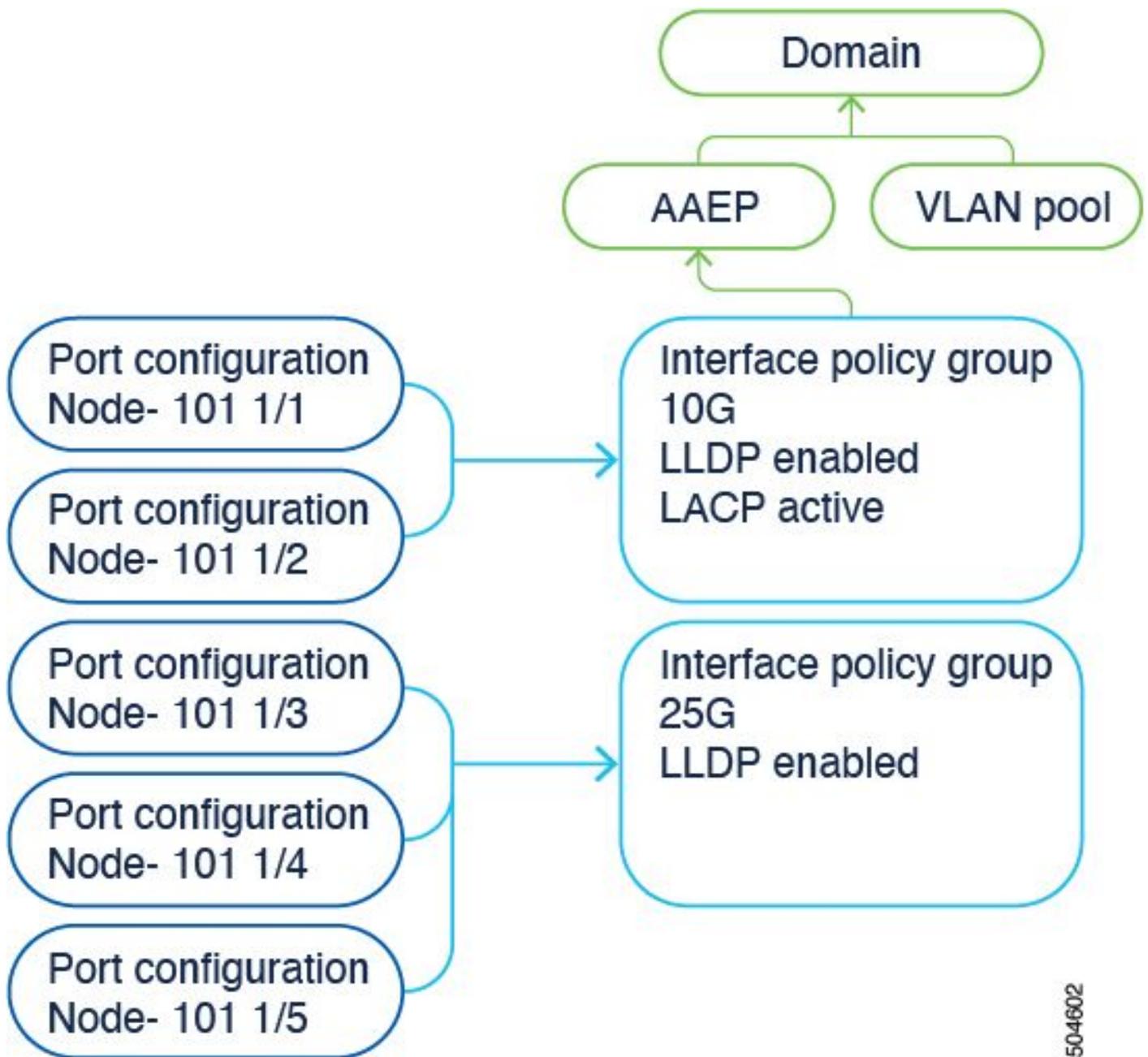
従来、ACIは4つのオブジェクト（スイッチプロファイル、スイッチセクタ、インターフェイスプロファイル、およびインターフェイスセクタ）を使用して、特定のスイッチノード上の特定のインターフェイスを選択します。

このドキュメントでは、この動作モードを「プロファイルとセクタの設定」と呼びます。次の図に、この設定を示します。



504601

インターフェイス設定オプションでは、4つのオブジェクトが1つのオブジェクトとして表示されます。その結果、スイッチプロファイル、スイッチセクタ、インターフェイスプロファイル、およびインターフェイスセクタを使用したり、維持したりする必要はありません。



詳細は、『設定ガイド』に記載されています。最新のアップデートについては、常に設定ガイドを参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/dcn/aci/apic/6x/l2-configuration/cisco-apic-layer-2-networking-configuration-guide-60x/access-interfaces-60x.html>

重要な点は、新しい「インターフェイス設定」オプションを使用する場合、Cisco APICはスイッチプロファイルとセレクタ、およびインターフェイスプロファイルとセレクタを作成し、維持します。読み取り専用にすると、オブジェクトはできるだけ少なくなります。

Cisco APICが自動的に作成するこれらのオブジェクトは、「システム生成プロファイル」と呼ばれます。

他の方法を使用してシステムプロファイルポリシーを編集しようとする、エラーが表示されます。<>は、親がシステム生成のプロファイルであるため削除できません。<>は、システム生成のMOであるため削除できません。

具体的なエラーの例：

Error 1. オブジェクトを削除できませんでした：

親がシステム生成プロファイルであるため、infraAccPortP uni/infra/accportprof-system-port-profile-node-600/hports-system-port-selector-accbundle-DstSymmpo-type-range/portblk-portblock1をinfraPortBlk uni/infra/accportprof-system-port-profile-node-600の下に削除することはできません。

Error 2. エラー： 400:

親がシステム生成プロファイルであるため、infraAccPortP uni/infra/accportprof-system-port-profile-node-600/hports-system-port-selector-accbundle-DstSymmpo-typ-range/portblk-portblock1をinfraPortBlk uni/infra/accportprof-system-port-profile-node-600の下で変更することはできません。

Error 3. オブジェクトを削除できませんでした：

infraAccPortP uni/infra/accportprof-system-port-profile-node-600はシステム生成のMOであるため、削除できません。

システム生成オブジェクトの編集

これらの読み取り専用スイッチプロファイルとセレクタ、およびインターフェイスプロファイルとセレクタの編集は、 [Fabric > Access Policies > Interface Configurations](#) を参照。

6.0.2hを実行するラボAPICでは、システム定義のプロファイルはまだ存在しません。設定は、グリーンフィールド展開にすることも、古いリリースから5.2.4以降にアップグレードすることもできます。

Policies



Quick Start



Interface Configuration



Switch Configuration



Switches



Leaf Switches



Profiles



101



101-102



102



103



Switch201_Profile



__ui_pps_n103



Policy Groups



Overrides



Spine Switches



Modules



Interfaces



Leaf Interfaces



Profiles



101

- 1.スイッチプロファイル> system-node-profile-101
- 2.インターフェイスプロファイル> system-port-profile-node-101
- 3.ポートセクタ> system-port-selector-accportgrp-10gig_policy

クイックスタートウィザードを使用して同じポリシーにインターフェイスE1/9を1つ追加すると、システムの「system-port-selector-accportgrp-10gig_policy」ブロックにE1/9も含まれます。



Configure Interfaces

General

Node Type

Leaf

Spine

Port Type

Access

Fabric

Interface Type

Ethernet

Fibre Channel

Interface Aggregation Type

Individual

PC

vPC

Node *

101

Select Node

Interfaces For All Switches *

1/9

Leaf Access Port Policy Group *

10gig_policy 

Configuration Status

ID *

Name

101

leaf101

```
icurl -X POST http://localhost:7777/api/mo/uni/infra.json -d @interfaceconfig.json
```

インターフェイスポリシー「bcg1-3k」をリーフ101に追加：E1/10

```
echo '{"infraInfra":{"attributes":{},"children":[{"infraPortConfig":{"attributes":{"assocGrp":"uni/infra/leaf101"},"dn":"uni/infra/leaf101/infraPortConfig/bcg1-3k"},"dn":"uni/infra/leaf101/infraPortConfig/bcg1-3k"}]}' |  
icurl -X POST http://localhost:7777/api/mo/uni/infra.json -d @interfaceconfig1.json
```

リーフ101に関連付けられたインターフェイス設定の削除 – E1/10

```
echo '{"infraInfra":{"attributes":{},"children":[{"infraPortConfig":{"attributes":{"dn":"uni/infra/leaf101/infraPortConfig/bcg1-3k"},"dn":"uni/infra/leaf101/infraPortConfig/bcg1-3k"}]}' |  
icurl -X POST http://localhost:7777/api/mo/uni/infra.json -d @interfaceconfig_delete1.json
```

インターフェイスポリシー「bcg1-3k」をリーフ102に追加：E1/14

この追加の前は、スイッチ102のシステムノードプロファイルもシステムポートプロファイルもありません。この投稿では、これらのポリシーの両方を作成します。

```
echo '{"infraInfra":{"attributes":{},"children":[{"infraPortConfig":{"attributes":{"assocGrp":"uni/infra/leaf102"},"dn":"uni/infra/leaf102/infraPortConfig/bcg1-3k"},"dn":"uni/infra/leaf102/infraPortConfig/bcg1-3k"}]}' |  
icurl -X POST http://localhost:7777/api/mo/uni/infra.json -d @interfaceconfig2.json
```

要約

「ポート単位の設定」オプションを使用すると、異なるプロファイルやセレクタを作成しなくても、アクセスポリシーを簡単に管理できます。

既知の問題/バグ

Cisco Bug ID [CSCwd83295](#):ACI:infraPortConfigへの移行後、VLANが無期限にリーフインターフェイスから削除される

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。